

6月の予定

日	曜	学 校 行 事
1	月	PTAあいさつ運動/いじめアンケート 教育相談週間(～6/12(金)まで)45分授業
3	水	耳鼻咽喉科検診(3年、6組の1、3年)ノー部活デー 校区研究会の日15時30分下校
4	木	検尿二次
5	金	歯科検診(6組、3-1、2、3)検尿二次予備日
6	土	中丹総体バドミントン
8	月	歯科検診(3-4 2-1、2)
10	水	耳鼻咽喉科検診(1年)ノー部活デー
15	月	特別支援校内職員研修 ノー部活
16	火	3年生実力テスト
17	水	ノー部活デー
20	土	中学生の主張大会(中総合会館)
21	日	中丹総体陸上(丹波自然運動公園)
22	月	成績処理・学習整理週間～Grading week～ (6時間45分授業ノー部活～6/26(金)まで)
26	金	歯科検診(1年全員、2-3、4) 学校諸費引落日
28	日	吹奏楽部・京都府音楽隊合同演奏会(中総合会館)

7月の主な予定

9	木	部活動強化週間(～16日(木)まで5時間45分授業)
11	土	中丹総体全競技開幕(開催日は競技ごとに設定)
17	金	終業式/給食あり

大会結果

【ソフトテニス部】

令和8年度加藤杯中学生ソフトテニス大会

男子下級の部2位 川崎 純(2年) 原 颯志(2年)

男子下級の部3位 小島玄馬(2年) 藤田泰介(2年)

女子上級の部2位 村尾真央(2年) 村尾理央(2年)

女子下級の部3位 堀江絢乃(2年) 倉田桃嘉(2年)

【ソフトボール部】

第23回亀岡保津川ライオンズクラブ杯

Bゾーン 準優勝 城南・城北合同チーム

【女子バレーボール部】

第58回若丹中学校バレーボール6人制男女選手権大会

Aゾーン 準優勝 城南・加佐合同チーム

【男子バレーボール部】

第58回若丹中学校バレーボール6人制

男女選手権大会 準優勝 城南拠点校チーム

(城北中生徒参加)

作品入賞

第71回花まつり写生大会入賞

山下 由愛(1年)

3年生修学旅行



学校HP掲載

東京ディズニーランド、国会議事堂など、東京ならではのスポットはもちろん、東京都内でのグループ別行動にも挑戦し、仲間と協力しながら計画を実行し、見事にやり遂げました。

多くの仲間との旅行は、個人で行く旅行とは違い、仲間を思いやったり、折り合いをつけたりするなど、人とかかわりながら生きていく中で必要なあれこれが多く詰まっていました。仲間と共に過ごした2泊3日の旅、そして当日までの取組を通しての学びが、皆さんを一回り大きく成長させてくれたことでしょう。そして、一生忘れられない思い出になったはずです。皆さんはこの旅でかけがえのない「宝物」を手に入れました。その経験と力を胸に、これからの中学校生活をさらに輝かせることを期待します。

1年生校外学習

青葉山ろく公園・グリーンスポーツセンターでの校外学習。飯ごう炊さん、カレーづくり探究、に取り組みました。自分達で計画をたて、それぞれが自分の役割を果たし力を発揮しました。まさに、仲間とともに創り上げた素敵な経験でした。協力することの大切さや、支え合うことの喜びを実感できたことでしょう。中学校に入って初めての大きな取組。大勢の人が生活する中で、お互いが気持ちよく過ごすルールづくりを体得する過程は、学校生活だけではなく、人生の中で必ず皆さんの力になります。取組での学びを大切にしながら、さらに成長することと思います。



学校HP掲載

城南中学校区小中一貫教育コーナー

本年度も城南中学校区の小中学校4校で、一貫教育を進めます。小学校から中学校の9年間で小中それぞれの学校の強みを活かしつつ、切れ目のない指導支援を充実させます。さらに、令和5年度から進めている、インクルーシブな学校運営モデル事業について「学び合う」をテーマとして舞鶴支援学校様や聾学校様と連携し共に歩んでいきます。



城南中だより

舞鶴市立城南中学校
令和8年6月1日発行
第3号 通算715号

「Step Up」

紫陽花の小さなつぼみが膨らみはじめ、梅雨の訪れを感じる季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

さあ、新学期が始まってから約2ヶ月が経過しました。皆さんはこの2ヶ月間を、どのように過ごしましたか？たったの2ヶ月だったかもしれませんが、これまでに起きた出来事を振り返ってみれば、意外にも沢山の思い出があるかもしれません。その中でも、悲しかったことより嬉しかったことや楽しかったことを思い出して、前向きな気持ちでこれからの学校生活を送っていきましょう。



城南中学校の紫陽花

城南中学校では令和8年度のスローガンが決定しました。スローガンは

「NEXTSTAGE～交流・尊重・共創～」

です。全校の皆さんのアンケートや、生徒会本部の「こんな学校にしたい」という、想いのこもったスローガンが完成したと思います。「NEXT STAGE～交流・尊重・共創～」このスローガンを心に刻んでこれからの一年間を過ごしていきましょう。

ところで気が付けば、季節が変わり梅雨に入ろうとしています。梅雨は雨や曇りの日が多くなり、空と一緒に気持ちがどんよりする日が続くかもしれません。ですがそんな時は、隣にいる仲間と話しかけてみましょう。そして、クラスを見渡せばたくさんの仲間がいます。気持ちが沈む日でも、お互いに励まし合うことで、だんだんと気持ちは晴れていくはずです。

先月から始動した、スリンプルプログラムのアドジャンを通して、だんだんとクラスの絆も深まってきた頃だと思います。その絆をふとした時に発揮して、クラス全員が楽しく過ごせる、そんな温かい学級を全校全員で創り上げていきましょう。

生徒会本部役員 書記 川島明奈

動き出した学校文化 ～「圧倒的当事者意識」の芽生え～

先月は校長賞を5枚授与しました。前任校を含めても過去最高です。そのうち3枚が2年生（2組・3組・4組）に渡ると、まだ受賞のない1組が必死に校長賞を目指し始めました。この競争心を、私は否定しません。生徒たちが自ら高みを目指すエネルギーが本校に確かに生まれている、その証だと受け止めています。

その日のうちに2年1組からこんな話が出ました。「1年生の掃除が遅いと聞いた」。普通なら「1年生の課題だ」と考えるかもしれませんが。しかし本校の2年生は違いました。「まず、1年生の担任の先生に、自分たちの掃除の仕方を見てもらいます。それで先生からOKが出たら、自分たちが1年生に教えに行きます」——この言葉を聞いた瞬間、新しい「学校文化」が確かに動き出したと確信しました。

まず自分たちがモデルになる。先生に認められてから下級生に伝える。そこに「上級生だから偉い」という傲慢さは一切ありません。これこそが「圧倒的当事者意識」です。

競争心が働くこと——それ自体は、自然なことだと思います。大切なのは、その向き先です。——本校の生徒は「勝つため」ではなく「誰かのために行動できるよう」にその力を向けました。一枚の校長賞が、次の校長賞に値する行動を呼ぶ。「校長賞が校長賞を呼ぶ」好循環が、いま城南中学校に生まれ始めています。

校長 鈴木 俊治

